



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.216 2021 June

今月の記事

Top News

- タイ全国教育水準・質評価局（ONESQA）
と覚書を更新 …………… 1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 312人から学士の学位授与の申請
—令和3年度4月期申請分— …………… 2
- 2,290人に学士の学位を授与 —令和2年度
10月期申請分— …………… 4
- これまでの学位授与の状況（学士） …………… 6
- 短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況
…………… 7

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

- 24人から修士の学位授与の申請
—大学院修士課程相当の課程修了者— …… 8
- 4人から博士の学位授与の申請
—大学院博士課程相当の課程修了者— …… 8
- これまでの学位授与・課程認定の状況
…………… 9

機構の窓

- 会議の開催状況 …………… 11
- 委員の異動
- 学位審査会審査委員 …………… 12
- 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応
について …………… 13

主要行事日程

- Schedule（6月～8月） …………… 14

TOP NEWS

○ タイ全国教育水準・質評価局（ONESQA）と覚書を更新

当機構とタイ全国教育水準・質評価局（ONESQA：Office for National Education Standards and Quality Assessment）は、平成 28 年 3 月に新規に締結した両機関の連携協力に関する覚書の有効期間（5 年間）の満了に伴い、令和 3 年 5 月 11 日、福田機構長及びNantha Nguantad 局長代理の署名をもって、覚書更新を行いました。

ONESQA は、国家教育法（1999 年）に基づいて 2000 年に設置されたタイ教育省傘下の公的機関として、タイの全教育段階の教育機関の外部質保証を担っています。2001 年からは 5 年周期で高等教育機関の自己評価や訪問調査に基づく機関別評価を行っており、現在、第 4 サイクル（2016～2020 年）が終了したところです。

当機構と ONESQA はこれまで、当機構の調査研究（タイにおける国際共同教育プログラムの質保証について）や刊行物「[ブリーフィング資料：タイ高等教育の質保証 改訂版（2019 年版）](#)」作成に係る ONESQA への訪問調査をはじめ、ONESQA の機構訪問、両国の質保証制度動向等に関する互いの取組についての日常的な情報交換など、様々な活動を通じて協力関係を構築してきました。

今回の覚書更新に基づき、両機関は引き続き、互いの高等教育質保証に関する活動の取組について情報交換や協力を深め、高等教育機関への支援の強化に向けて取り組んでいきます。



福田機構長による覚書への署名



Nantha Nguantad 局長代理による覚書への署名

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 312人から学士の学位授与の申請 ―令和3年度4月期申請分―

学位授与申請は、毎年度2回（4月期と10月期）受け付けており、令和3年度4月期においては、短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等290人から、18専攻分野33専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和3年5月14日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。また、新型コロナウイルス感染症の影響による対応について、審議が行われました。

高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者については、22人から2専攻分野4専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和3年5月14日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

また、機構では、平成30年度から「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 学位取得者表彰規則」に基づいて、当機構で学士の学位を取得した方のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた方に対して表彰を行っています。今年度は、令和2年度4月期及び10月期に学士の学位を取得した方から表彰者を決定する予定です。

＜令和3年度4月期学士の学位授与申請者数＞

(専攻の区分別)

(基礎資格別)

基礎資格	申請者数(人)
短期大学卒業生	54
高等専門学校卒業生	22 [22]
専門学校修了者	187
高校等専攻科修了者	5
大学中退者	33
飛び級	1
大学卒業生	9
外国資格	1
合計	312 [22]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

(見込み申請者の内訳)

区分	申請者数(人)
短期大学専攻科修了見込者	0
高等専門学校専攻科修了見込者	22 [22]
合計	22 [22]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)
文学	国語国文学	1
	英語・英米文学	3
	歴史学	3
	心理学	2
教育学	教育学	4
社会学	社会学	1
	社会福祉学	1
教養	科学技術研究	2
法学	法学	1
政治学	政治学	1
商学	商学	1
経営学	経営学	1
理学	数学・情報系	4
	物理学・地学系	1
	生物学系	2
	綜合理学	1
薬科学	薬科学	5
看護学	看護学	200
保健衛生学	検査技術科学	9
	臨床工学	4
	放射線技術科学	16
	理学療法学	3
	言語聴覚障害学	1
鍼灸学	鍼灸学	5
口腔保健学	口腔保健衛生学	1
	口腔保健技工学	3
栄養学	栄養学	4
工学	機械工学	2 [2]
	電気電子工学	1 [1]
	情報工学	9 [4]
	建築学	1
	社会システム工学	1
商船学	商船学	15 [15]
家政学	家政学	1
芸術学	音楽	1
	演劇	1
合計		312 [22]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

○ 2,290 人に学士の学位を授与 —令和 2 年度 10 月期申請分—

令和2年度10月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等2,366人のうち、2,290人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、令和3年2月19日（金）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈令和 2 年度 10 月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数(人)	取得者数(人)
文 学	国 語 国 文 学	2	0
	英 語 ・ 英 米 文 学	15	13
	仏 語 ・ 仏 文 学	1	1
	歴 史 学	5 [5]	5 [5]
	哲 学	1	1
教 育 学	教 育 学	177 [104]	176 [104]
教 養 学	比 較 文 化	2	2
学 芸	比 較 文 化	2	2
社 会 科 学	社 会 科 学	1	1
法 学	法 学	2	1
経 済 学	経 済 学	1	1
経 営 学	経 営 学	9 [8]	9 [8]
理 学	数 学 ・ 情 報 系	1	0
	生 物 学 系	1	0
薬 科 学	薬 科 学	3	2
看 護 学	看 護 学	267 [18]	244 [18]
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	23 [13]	22 [13]
	臨 床 工 学	1	0
	放 射 線 技 術 科 学	9	7
	理 学 療 法 学	38	35
	作 業 療 法 学	8	8
	言 語 聴 覚 障 害 学	8	0
鍼 灸 学	鍼 灸 学	4	0
口 腔 保 健 学	口 腔 保 健 衛 生 学	69 [27]	69 [27]
	口 腔 保 健 技 工 学	11	11

栄 養 学	栄 養 学	38	[25]	34	[23]
工 学	機 械 工 学	359	[356]	355	[353]
	電 気 電 子 工 学	478	[478]	477	[477]
	情 報 工 学	208	[207]	202	[202]
	応 用 化 学	195	[193]	194	[192]
	生 物 工 学	38	[38]	38	[38]
	材 料 工 学	31	[30]	30	[30]
	土 木 工 学	158	[157]	158	[157]
	建 築 学	74	[72]	73	[72]
	社会システム工学	4	[4]	4	[4]
農 学	農 学	1		1	
家 政 学	家 政 学	4		4	
芸 術 学	音 楽	48	[10]	45	[9]
	美 術	52	[21]	49	[21]
	演 劇	16		15	
体 育 学	体 育 学	1		1	
合 計		2,366	[1,766]	2,290	[1,753]

※ []内は特例適用専攻科修了見込での申請者数及び取得者数で内数。

○ これまでの学位授与の状況（学士）

＜平成4年度～令和2年度＞

学位(学士)の専攻分野 の 名 称	取得者数 (人)	学位(学士)の専攻分野 の 名 称	取得者数 (人)
文 学	650	看 護 学	8,120
教 育 学	4,053	保 健 衛 生 学	4,882
神 学	24	鍼 灸 学	142
社 会 学	106	口 腔 保 健 学	653
教 養	186	柔 道 整 復 学	7
学 芸	54	栄 養 学	2,755
社会科学	39	工 学	30,262
法 学	111	芸 術 工 学	383
政 治 学	27	商 船 学	215
経 済 学	78	農 学	141
商 学	75	水 産 学	6
経 営 学	272	家 政 学	130
理 学	161	芸 術 学	5,121
薬 学	2	体 育 学	86
薬 科 学	11	合 計	58,752

○ 短期大学及び高等専門学校の特攻科認定状況

令和3年4月現在

	区 分	令和2年度末時点	令和3年度	令和3年度認定専攻科総数
		既認定専攻科数 (専攻)	新規認定専攻科数 (専攻)	(専攻)
短期大学 専攻科	文 学	3 [3]		3 [3]
	教 育 学	19 [16]		17 [14]
	社 会 学	1 [0]		1 [0]
	教 養	3 [2]		3 [2]
	看 護 学	6 [0]		6 [0]
	保 健 衛 生 学	4 [0]		4 [0]
	口 腔 保 健 学	8 [2]		8 [2]
	家 政 学 ・ 栄 養 学	9 [7]		9 [7]
	芸 術 学	11 [9]		11 [9]
	計	44 校 64 専攻[39]	0 校 0 専攻[0]	44 校 62 専攻[37]
高等専門学校 専攻科	経済学・商学・経営学	2 [2]		2 [2]
	工学・芸術工学	105 [105]	2 [2]	107 [107]
	商 船 学	5 [5]		5 [5]
	計	56 校 112 専攻[112]	2 校 2 専攻[2]	56 校 114 専攻[114]
合 計	100 校 176 専攻[151]	2 校 2 専攻[2]	100 校 176 専攻[151]	

(注1) [] 内は、2年制の専攻数で内数。

(注2) 「計」、「合計」欄の学校数については、実数を記載（同一校において他の専攻科を認定したこと等により単純に累計とならない）。

(注3) 令和3年度認定専攻科総数は、専攻科の廃止も反映した値。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 24人から修士の学位授与の申請—大学院修士課程相当の課程修了者—

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の令和3年3月修了者24人から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和3年5月14日（金）開催の学位審査会（ウェブ開催）において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、合格者には各大学校を通して修士の学位を授与する予定です。

＜修士の学位授与申請者数＞

認定課程名	専攻分野の名称	申請者数(人)
水産大学校 水産学研究科	水産学	8
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科 前期課程	看護学	3
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業 能力開発研究学域	生産工学	13
合 計		24

○ 4人から博士の学位授与の申請—大学院博士課程相当の課程修了者—

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の令和3年3月修了者4人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和3年5月14日（金）開催の学位審査会（ウェブ開催）において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、工学・芸術工学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、合格者には各大学校を通して博士の学位を授与する予定です。

＜博士の学位授与申請者数＞

認定課程名	専攻分野の名称	申請者数(人)
防衛大学校 理工学研究科後期課程	工学	4
合 計		4

○ これまでの学位授与・課程認定の状況

令和3年4月1日現在

1 大学の学部に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員(人)	取得者数累計(人)	授与する学位(専攻分野の名称)
防衛医科大学校 医学教育部医学科	平成3年8月30日	6年	80	1,958	学士(医学)
防衛大学校本科	平成3年12月18日	4年	480	12,293	学士(理学、工学、人文科学または社会科学)
水産大学校本科	平成3年12月18日	4年	185	5,405	学士(水産学)
海上保安大学校本科	平成3年12月18日	4年	60	1,183	学士(海上保安)
気象大学校大学部	平成3年12月18日	4年	15	409	学士(理学)
職業能力開発総合大学校 長期課程 ※平成28年度末廃止	平成3年12月18日	4年	-	4,930	学士(工学)
国立看護大学校 看護学部看護学科	平成13年3月26日	4年	100	1,640	学士(看護学)
職業能力開発総合大学校 総合課程	平成24年2月13日	4年	80	479	学士(生産技術)
防衛医科大学校 医学教育部看護学科	平成29年2月15日	4年	120	440	学士(看護学)
合 計				28,737	

2 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員(人)	取得者数累計(人)	授与する学位(専攻分野の名称)
防衛大学校 理工学研究科前期課程	平成3年12月18日	2年	90	1,734 [54]	修士(理学または工学)
職業能力開発総合大学校 研究課程 ※平成24年度末廃止	平成3年12月18日	2年	-	470 [78]	修士(工学)
水産大学校 水産学研究科	平成6年6月23日	2年	10	247 [33]	修士(水産学)
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	平成9年3月11日	2年	20	361 [131]	修士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	平成17年2月10日	2年	15	122 [68]	修士(看護学)
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業能力開発研究学域	平成28年2月12日	2年	20	48 [0]	修士(生産工学)
合 計				2,982 [364]	

[]内は修了見込み申請で内数

3 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程

認 定 課 程 名	認 定 年 月 日	修業 年限	入学定員 (人)	取得者数 累計(人)	授 与 す る 学 位 (専攻分野の名称)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	平成 3 年 8 月 30 日	4年	30	532 [0]	博士(医学)
防衛大学校 理工学研究科後期課程	平成 13 年 3 月 12 日	3年	20	112 [17]	博士(理学または工学)
防衛大学校 総合安全保障研究科後期課程	平成 21 年 2 月 13 日	3年	7	20 [3]	博士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	平成 27 年 2 月 13 日	3年	3	4 [2]	博士(看護学)
合 計				668 [22]	

[]内は修了見込み申請で内数

機構の窓

○ 会議の開催状況

・ 学位審査会

第1回 令和3年5月14日（金） ウェブ開催
議事

（審議事項）

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響による対応について
- 2 学士、修士及び博士の学位授与の審査の付託について
- 3 専攻科認定及び特例適用認定の審査の付託について
- 4 令和3年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- 5 認定課程修了者に係る修士及び博士の学位授与の審査の結果について

（報告事項）

- 6 学士、修士及び博士の学位取得者数について
- 7 その他

■ 委員の異動

○ 学位審査会審査委員

学位審査会審査委員2人が退任され、新たに2人の方々が就任されました。

- ・退任（令和3年3月31日辞任）

氏名	退任時の職	在任期間
藤田 静雄	京都大学教授	平成29年4月17日～令和3年3月31日
野坂 泰司	学習院大学教授	平成17年4月1日～令和3年3月31日

- ・学位審査会審査委員17人

任期は令和2年4月13日～令和4年3月31日

（新任2名の任期は令和3年4月14日～令和4年3月31日）

氏名	現職	氏名	現職
天野 英晴	慶應義塾大学教授	瀬沼 花子	玉川大学教授
飯野 正光	大学改革支援・学位授与機構 特任教授	土野 研治	日本大学特任教授
宇高 勝之	早稲田大学教授	西村 敏英	女子栄養大学教授
◎大 芝 亮	広島市立大学特任教授	本田 彰子	聖隷クリストファー大学教授
○影 山 和郎	金沢工業大学教授	山口 周	大学改革支援・学位授与機構 特任教授
菊池 和朗	大学改革支援・学位授与機構 研究開発部主幹	山下 哲郎	工学院大学教授
北 詰 昌樹	東京工業大学教授	山下 純司	学習院大学教授
椎原 伸博	実践女子大学教授	吉川 裕美子	大学改革支援・学位授与機構 教授
菅原 義之	早稲田大学教授		

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

○ 新型コロナウイルス感染拡大に関連した対応について

当機構では新型コロナウイルス感染拡大の状況に鑑み、政府により決定された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を踏まえて、令和3年5月までに予定されていた機構主催の行事について以下のとおり対応を行いました。

5月

開催日	行事名	対応	担当課
14日	学位審査会	ウェブ開催	学位審査課
17日 ~31日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第1回）	書面審議	評価支援課
26日 ~6月4日	法科大学院認証評価委員会（第1回）	書面審議	評価支援課

主要行事日程

○ Schedule

6月

日	行事名	担当課
6日	令和3年度4月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区） 令和3年度4月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
7日	大学機関別認証評価委員会（第1回） 令和3年度高等専門学校機関別認証評価における評価担当者に対する研修	評価支援課
16日	令和3年度高等専門学校機関別認証評価における評価担当者に対する研修	評価支援課
上旬	法科大学院認証評価に関する説明会及び令和4年度に実施する法科大学院認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課
中旬 ～下旬	令和3年度大学機関別認証評価における評価担当者に対する研修会	評価支援課
26日	「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方へのオンライン説明会」（放送大学とのオンライン合同説明会）	学位審査課
下旬	大学機関別認証評価等に関する説明会及び令和4年度に実施する大学機関別認証評価等に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課

7月

日	行事名	担当課
21日	NIC-Japan セミナーシリーズ「韓国の教育制度・高等教育資格」	国際課
28日	NIC-Japan セミナーシリーズ「モンゴルの教育制度・高等教育資格」	国際課

8月

日	行事名	担当課
20日	学位審査会（令和3年度第2回）	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

